



Project
TESLA



秋月AE-TB67H450とM5Stack(Basic)とRaspberry Pi を使った電磁石の制御その2(IoTLT版)

IoT縛りの勉強会! IoT LT vol.113 2024 7/17

福山大学工学部情報工学科 山之上卓





Project
TESLA

自己紹介

福山大学の教員
高専OB

着る電光掲示板、
テレポートドレッサー、
シン3次元表示装置

テレポーテーション
システム作成中



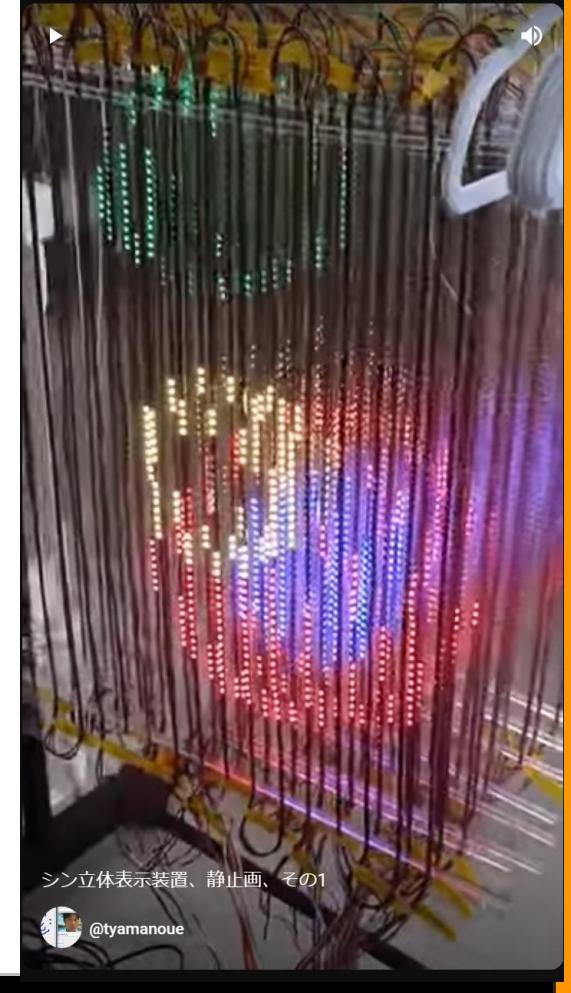


Project
TESLA

自己紹介



- 1980年 interface LKIT-16によるFORTRANシステム
- 1980年 bit ナノピコ教室じゃんけん大会優勝
- 1988年日本経済新聞「パソコン通信使い電算機言語開発」
- 2016年 ACM SIGUCCS Hall of Fame
- 「ギャル電の意識の低いプレゼンバトル」優勝
@Geek night 広島, 2017 12/9
- MF Tokyo 2018, MF Taipei 2018, NT広島2019
- NT金沢2022, OMMF2022, MFT2023, MFK2024
- ヒーローズ・リーグ2023 トランジスタ技術賞受賞
- 情報処理学会フェロー

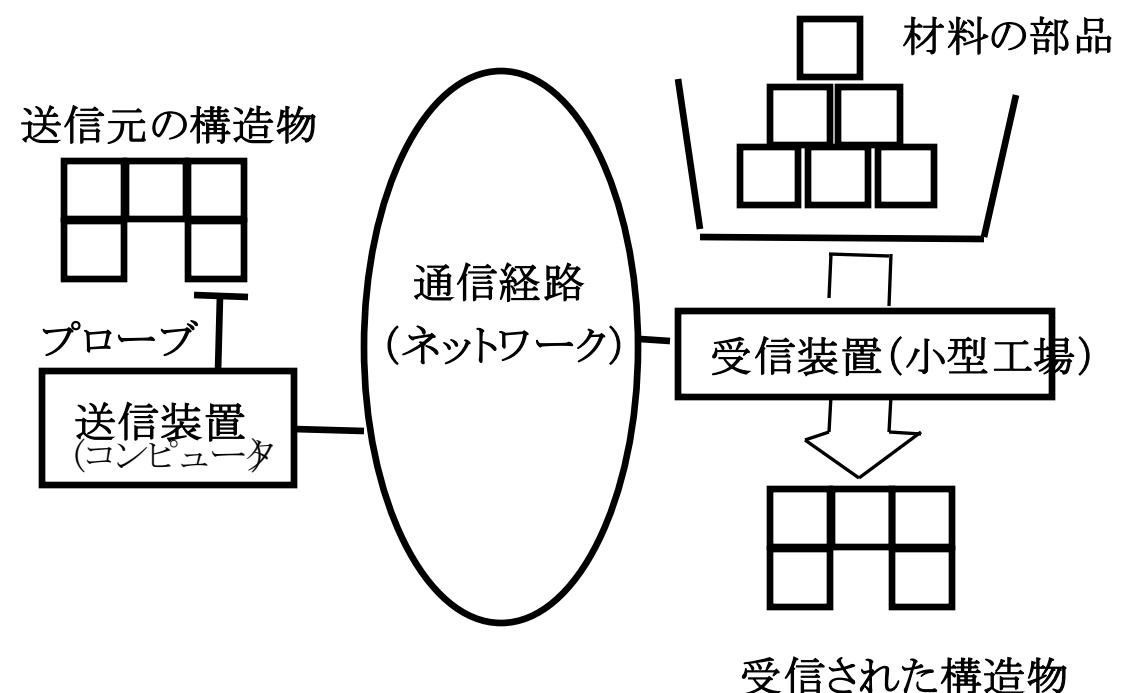




背景



- ・テレポーテーション(物体瞬間移動)を実現したい！





Project
TESLA

経緯



- ・ 1994 うどんをネットワークで送りたい@JAINコンソーシアム@志賀島
- ・ 1995年、What How For 北九州(产学研官交流サロン)で開発スタート
- ・ 1999年、特許出願(2009年査定)
- ・ 2002年、試作開始、シミュレータ作成
- ・ 2021年、Real->Virtual 転送成功(IoTLT vol.93)



Project
TESLA

背景その2 Real->Virtual





Project
TESLA

経緯

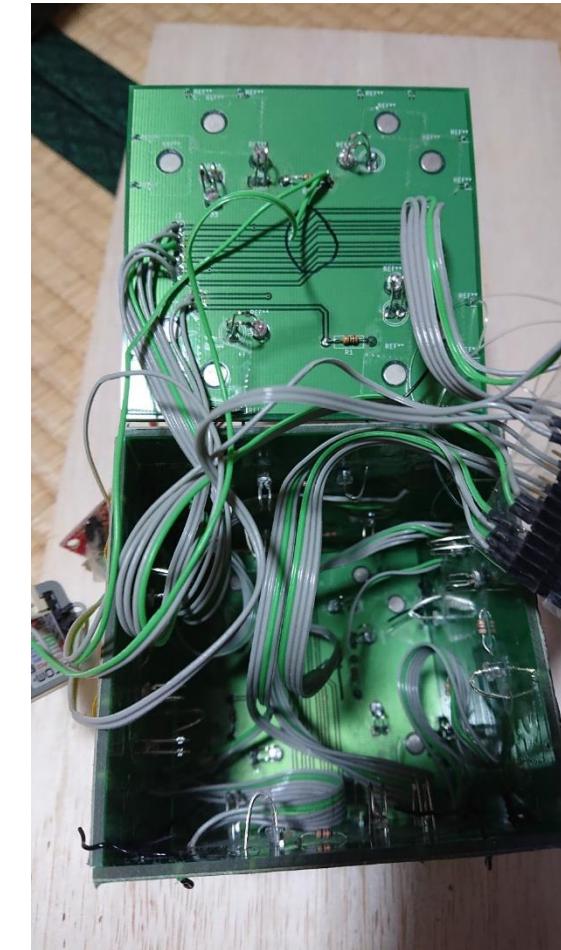
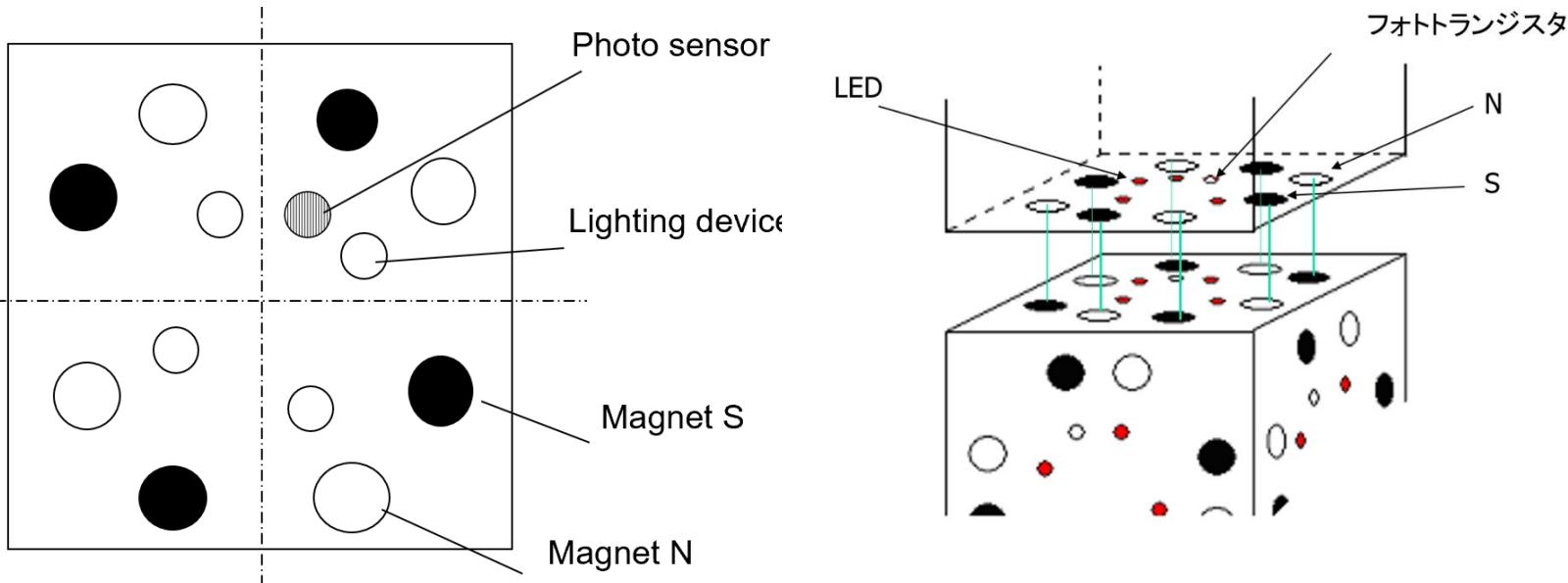


- ・ 2023年12月 Qiita, IoT LT Advent Calendar 11日目
「秋月AE-TB67H450とM5Stack(Basic)とRaspberry Piを使った電磁石の制御」
 - 電磁石を使ったテスラダイスの把握と分離
 - ・ ネオジム磁石の脅威
 - 電流を流さないのにくっつく
 - 電流の向きを変えても離れない



Project
TESLA

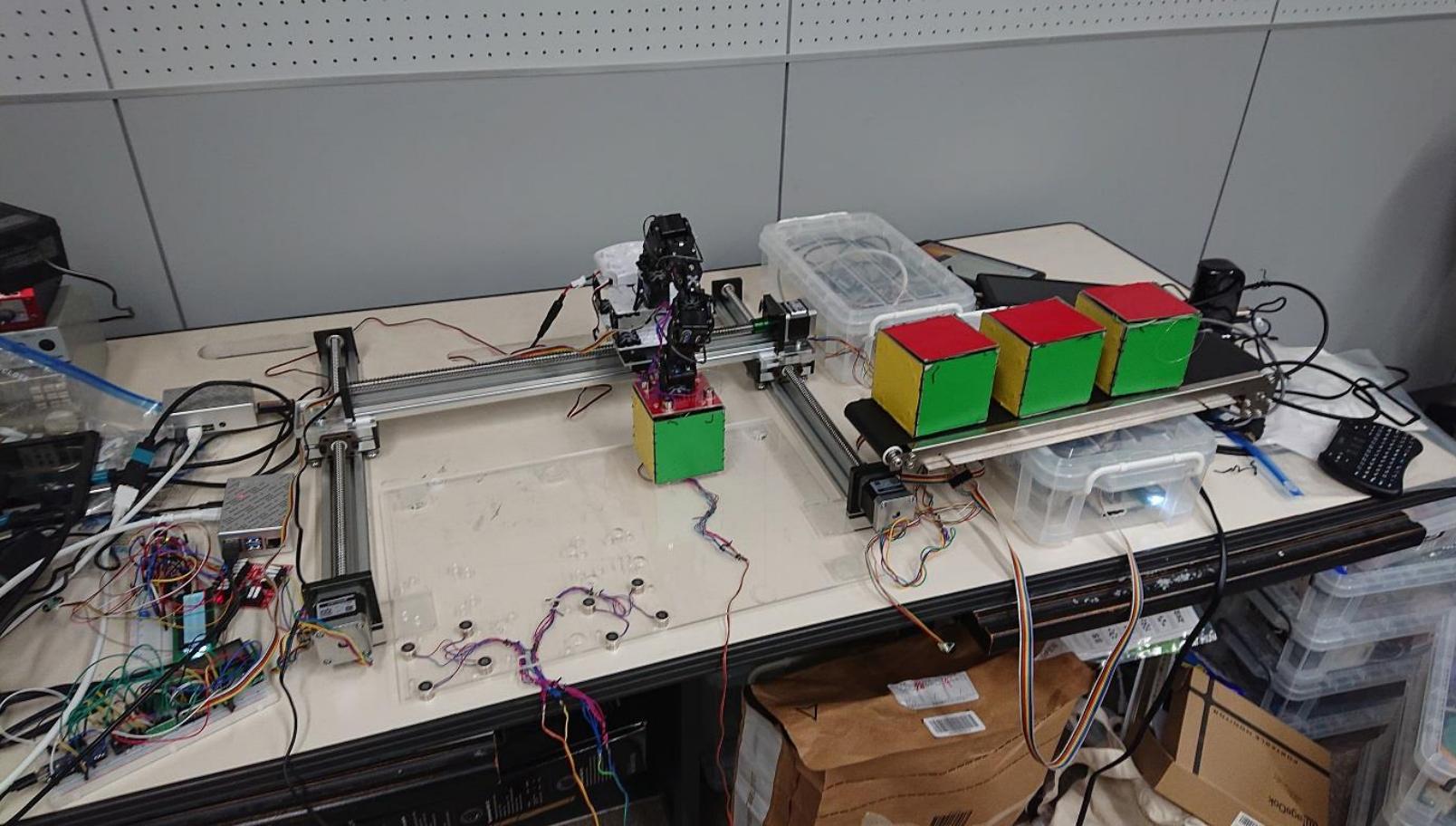
部品間接続・通信機構





Project
TESLA

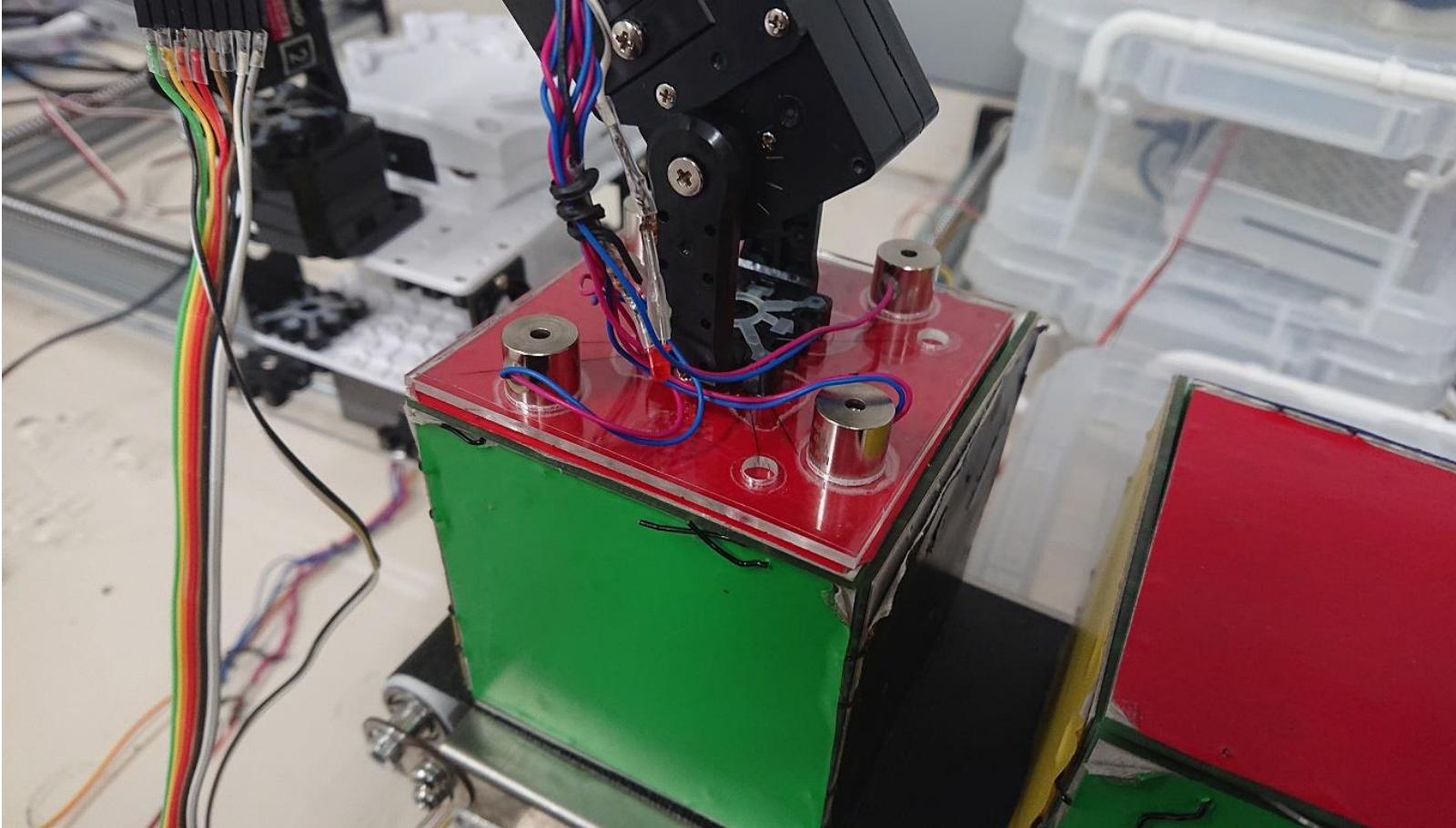
製作中の受信装置(自動工場)





Project
TESLA

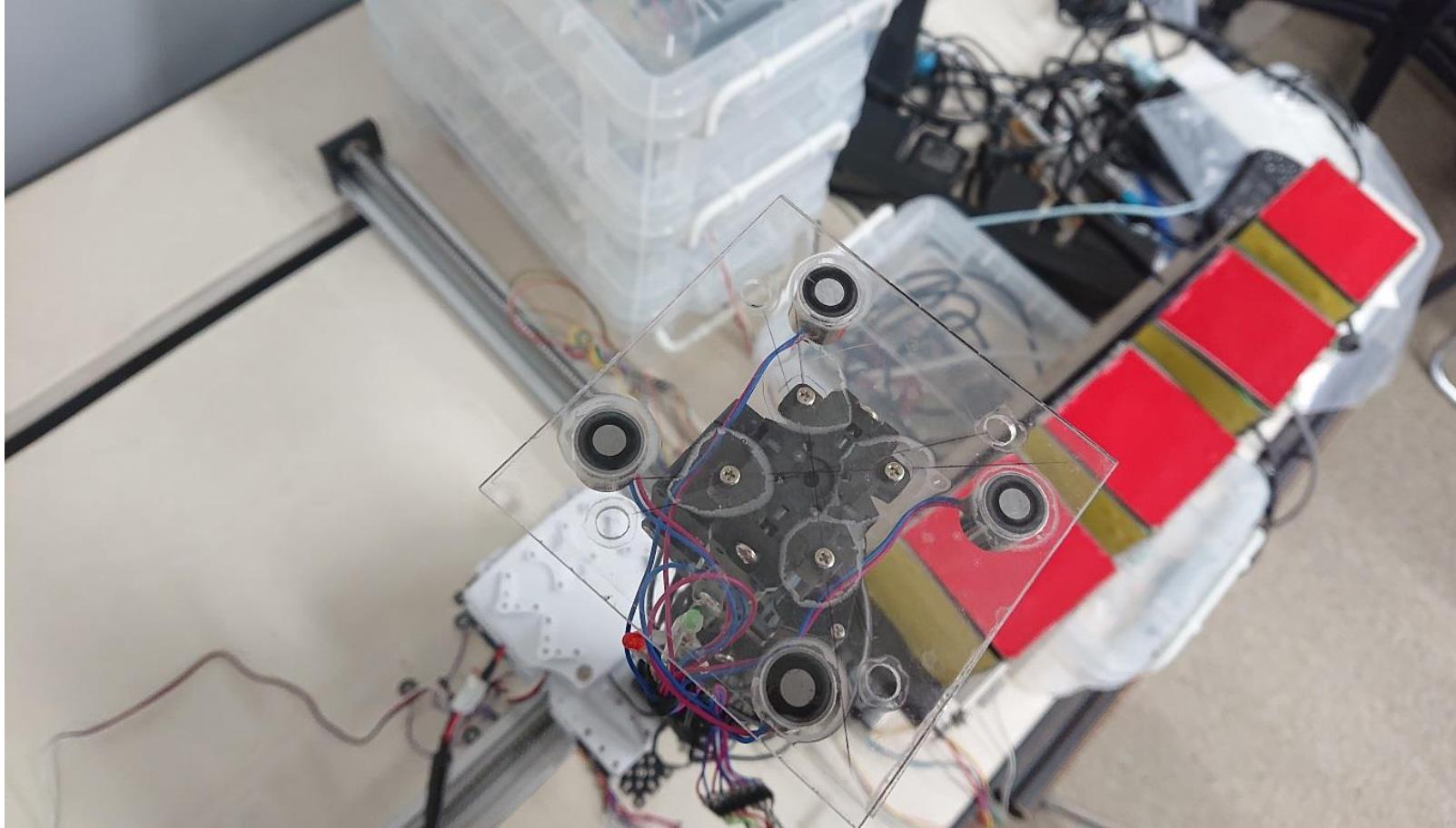
ロボットアームの 部品把握部分

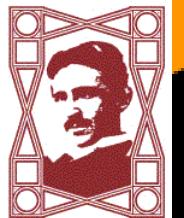




Project
TESLA

ロボットアームの 部品把握部分





Project
TESLA

やってみた



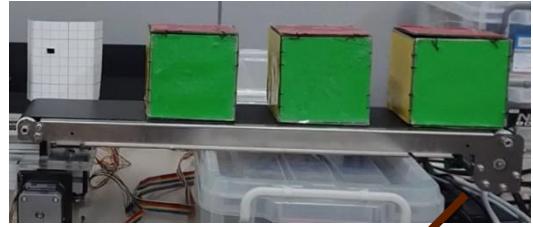
- ・ うまくいかないかもしれないけど、とにかくやってみた
 - Youtube : <https://youtu.be/JHxr8vVwPaU?si=Qs8htKyiGSgnQcD3>



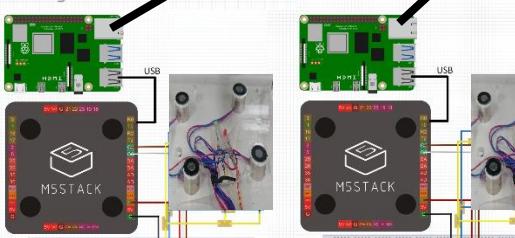
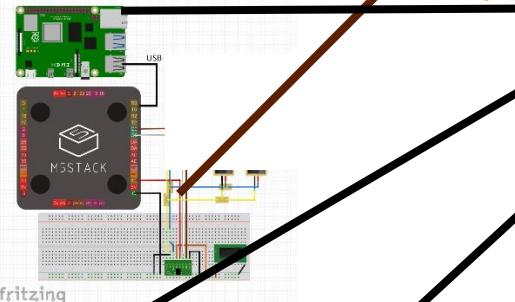


Project
TESLA

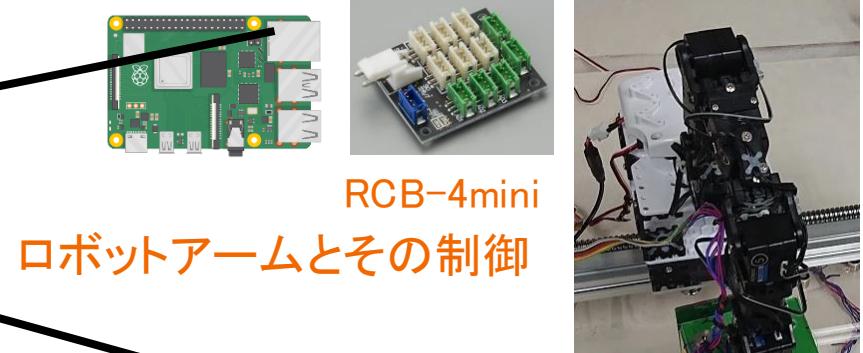
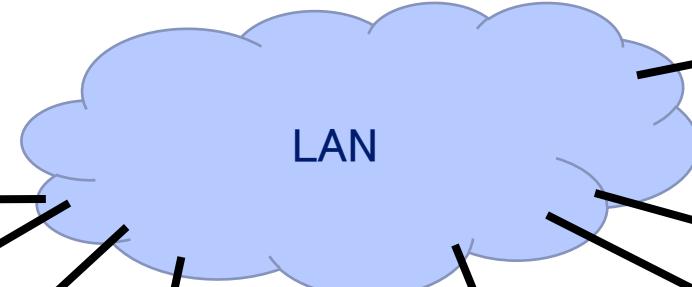
Hardware



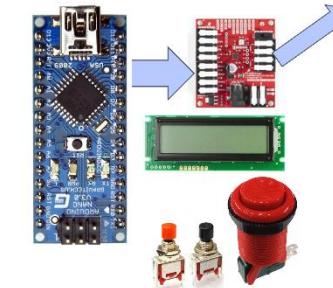
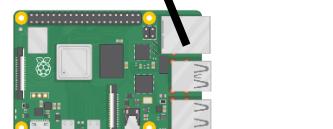
ベルトコンベアとその制御



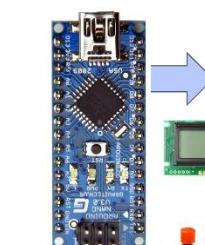
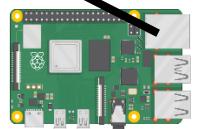
fritzing



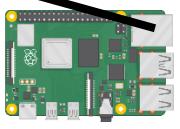
RCB-4mini
ロボットアームとその制御



X



y-l



y-r

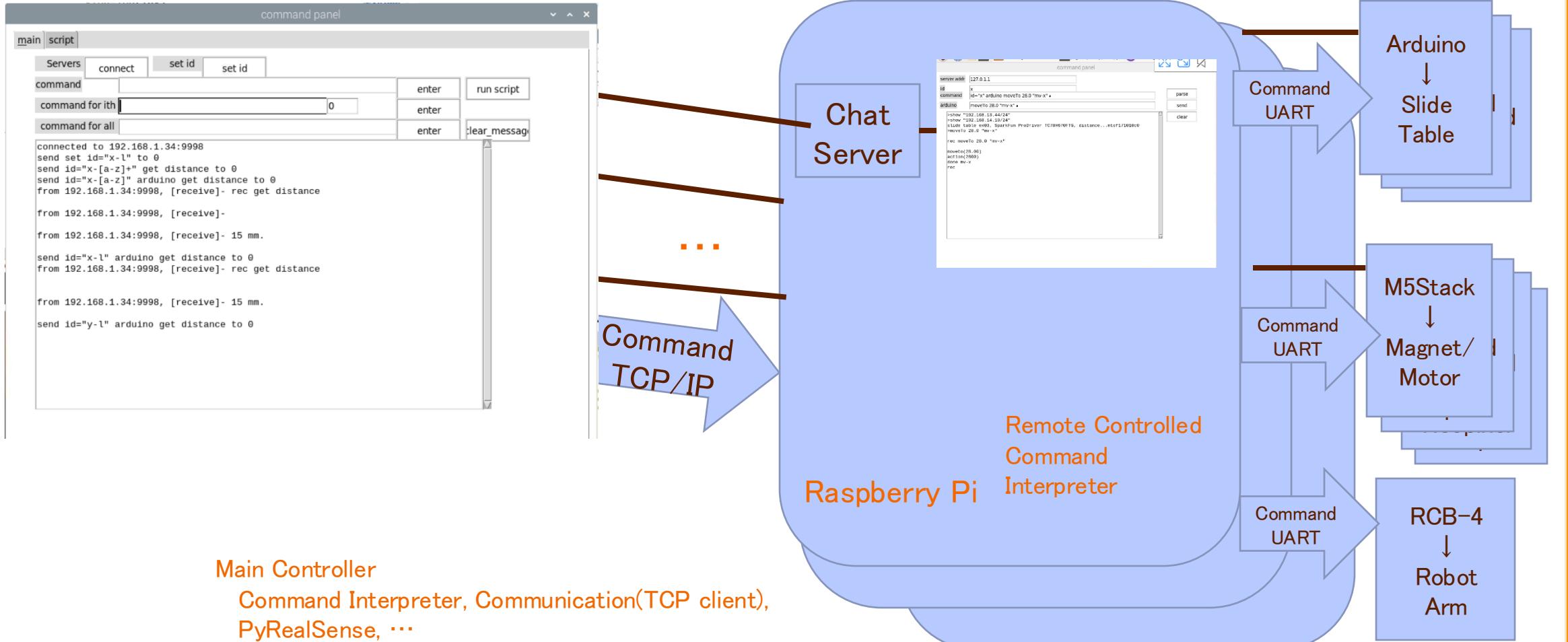
ダイス(部品)の水平方向の移動

電磁石とその制御



Project
TESLA

Software



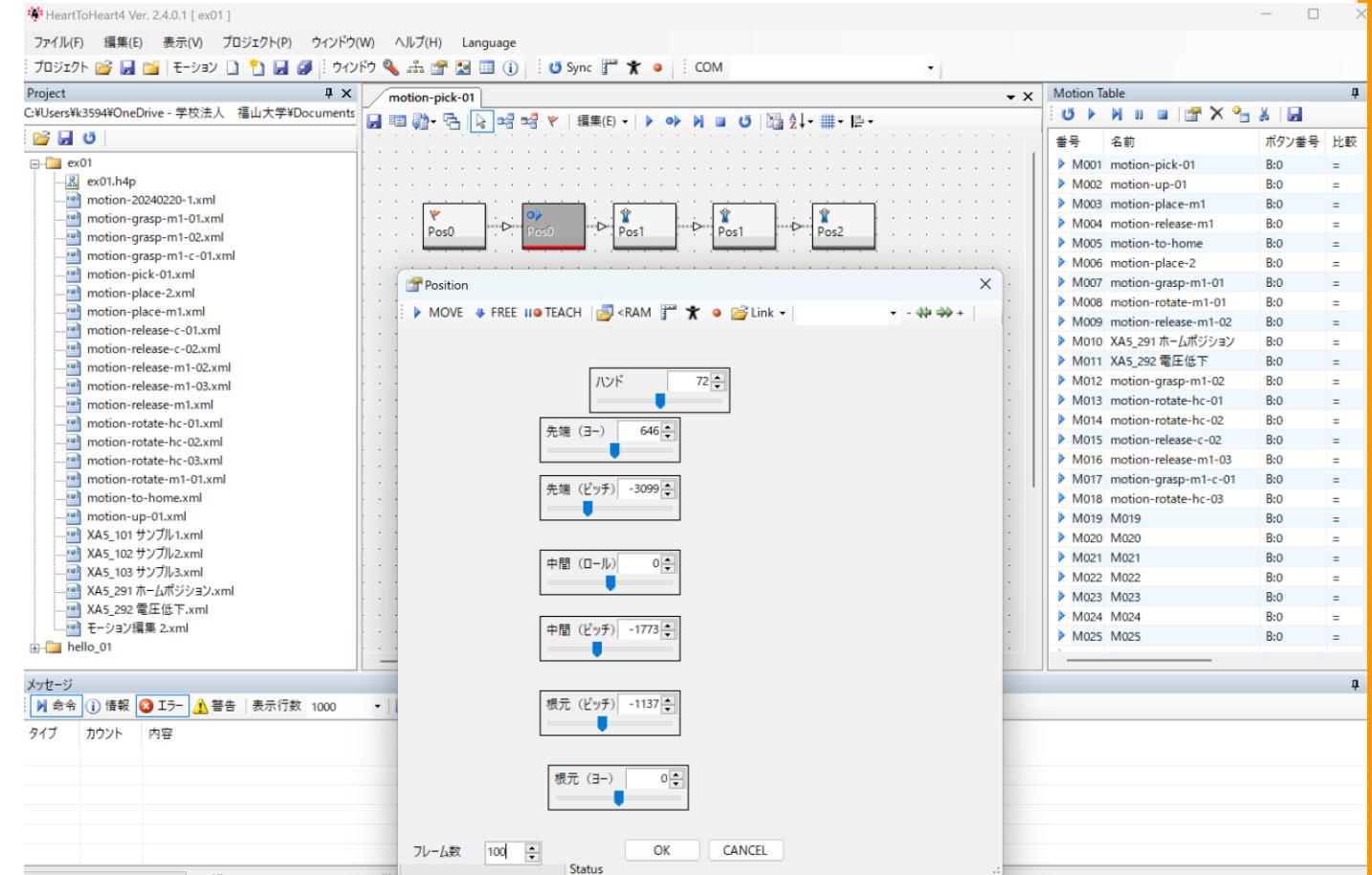


Project
TESLA

ロボットアームの制御



- ロボットアーム
 - Kondo KHR-A5, サーボモータ追加。高出力サーボモータに一部交換
- アームの動きの作成:
 - Windows の Heart2Heart4 で作成, RCB-4mini に書き込み TEACH 機能大活躍
 - Raspberry Pi -動作番号->UART->RCB-4mini
 - Heart2Heart4, RCB-4 Library for Python
 - Raspberry Pi<->RCB-4mini





全体の制御



- 受信装置の制御は、main controllerでpython の文の列を exec関数で実行することで実施。
- 各文は、スライドテーブル、ベルトコンベア、電磁石、アームを制御する機構のついたRaspberry Pi+(Arduino/M5Stack/RCB4-mini)へコマンドを送り、各担当機器を制御。

```
time.sleep(10.0)
self.send_init_belt_command()
self.send_arm_motion_command("1")
time.sleep(8.0)
self.send_magnet_command(0,"go")
time.sleep(2.0)
self.send_stop_belt_command()
time.sleep(1.0)
self.send_arm_motion_command("2")
time.sleep(4.0)
self.send_magnet_command(0,"stop")
self.send_move_command(28.0,100.0)
...
```

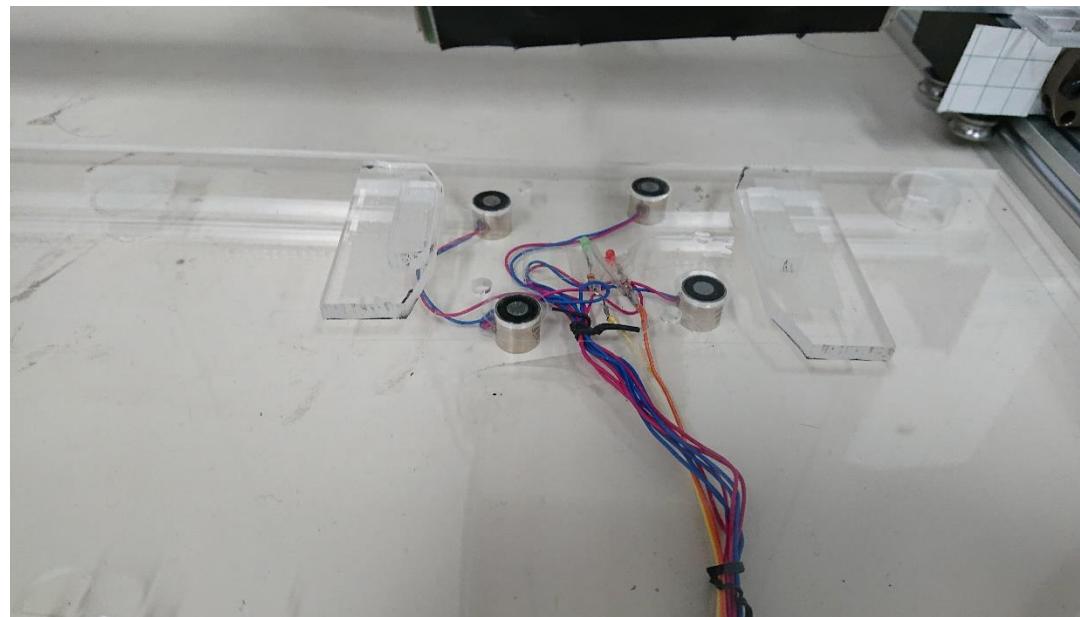


Project
TESLA

発生した問題



- 事前の予想どおり、アームの電磁石とダイスが離れない
 - ちょっとずるしました。ガイドの貼り付け。



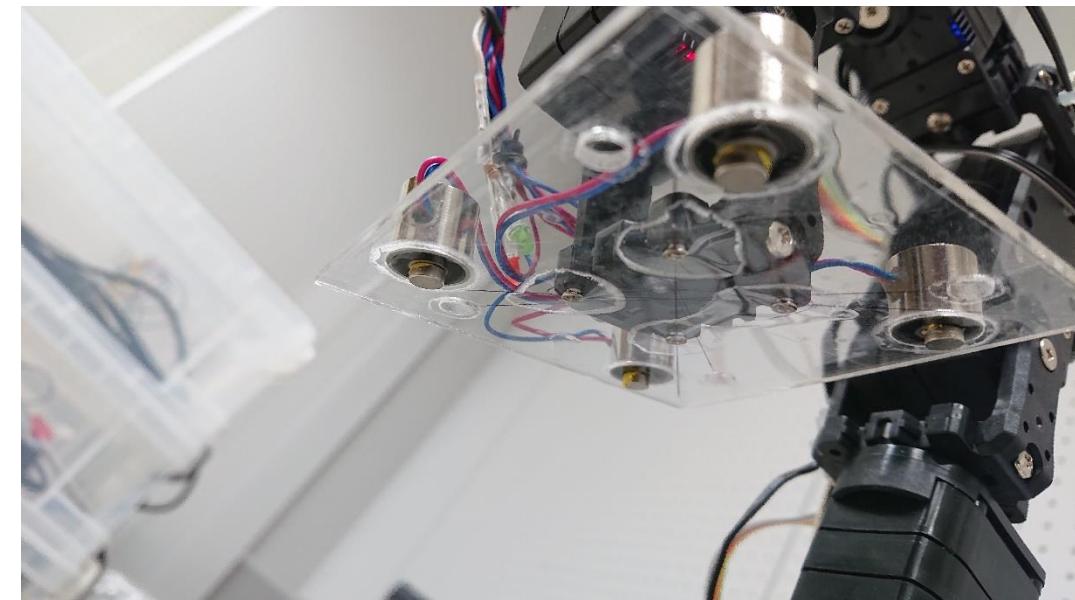
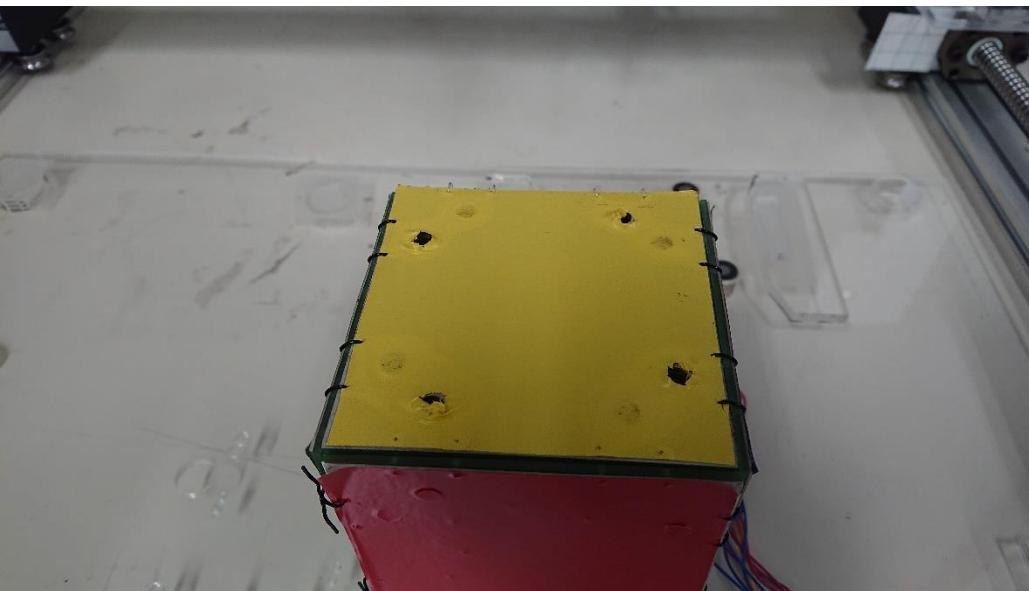


Project
TESLA

発生した問題



- 電磁石が発熱して相手側のダイスの面の被服を溶かして、ネオジム磁石を剥がしてしまいました。



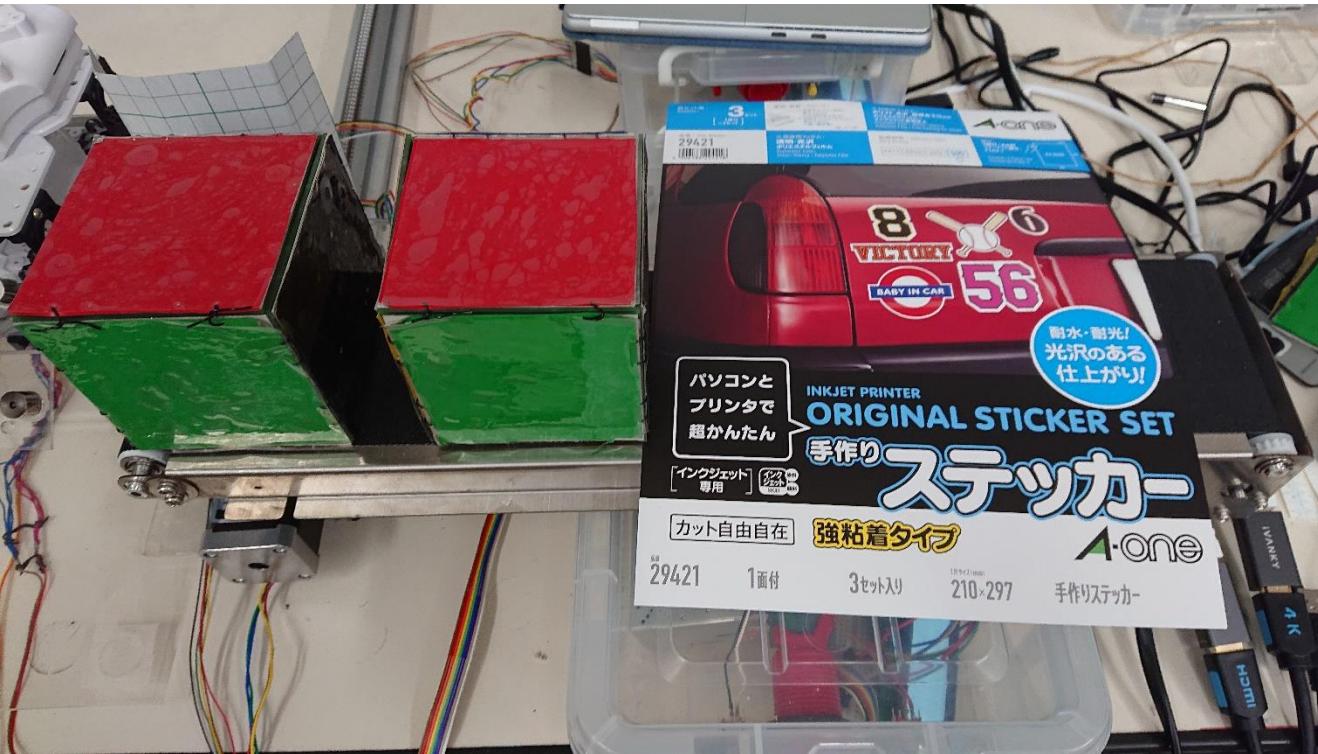


Project
TESLA

発生した問題



- 熱対策… すべての面にステッカーの保護シールを貼りました

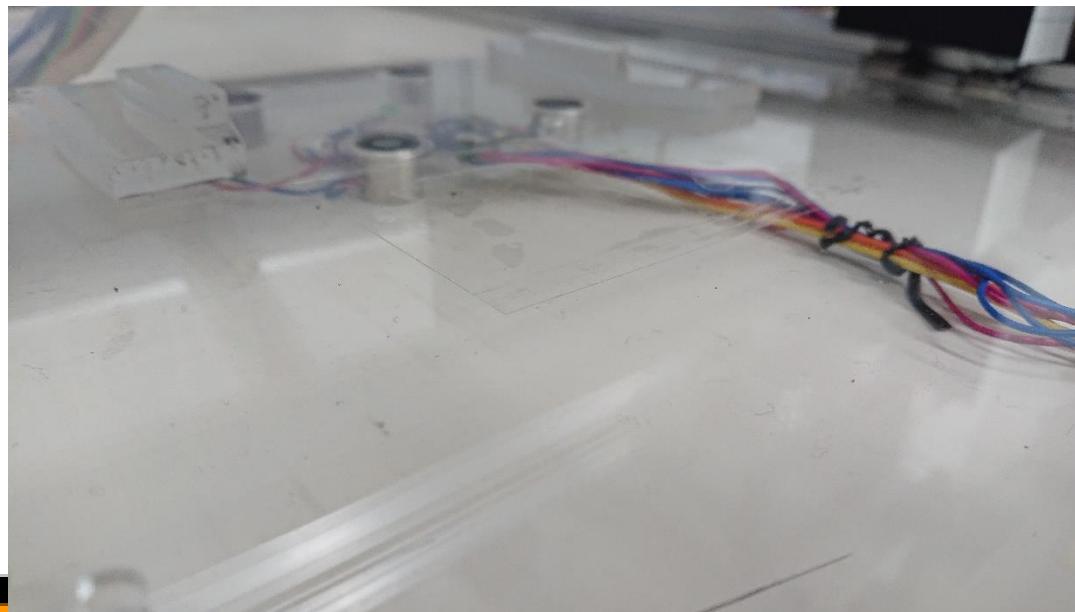




発生した問題



- ・回転場所の電磁石を張り付けているシールに、ダイスが引っ掛かって、意図した動作にならない。
 - ひっかかりがないように、別のシールを張り付け。

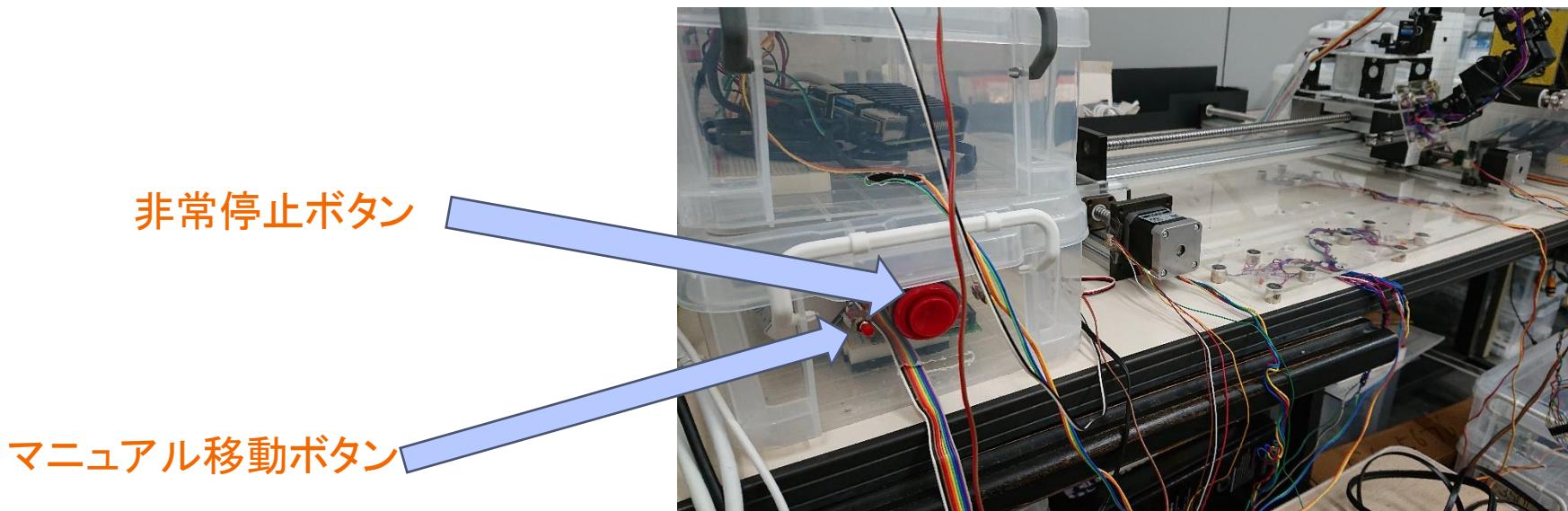




発生した問題



- 一部のlinear slide table が動かないことがある
→部品移動機構が壊れる
 - 非常停止ボタンを付加。ついでにマニュアル移動ボタンも付加。





おわりに

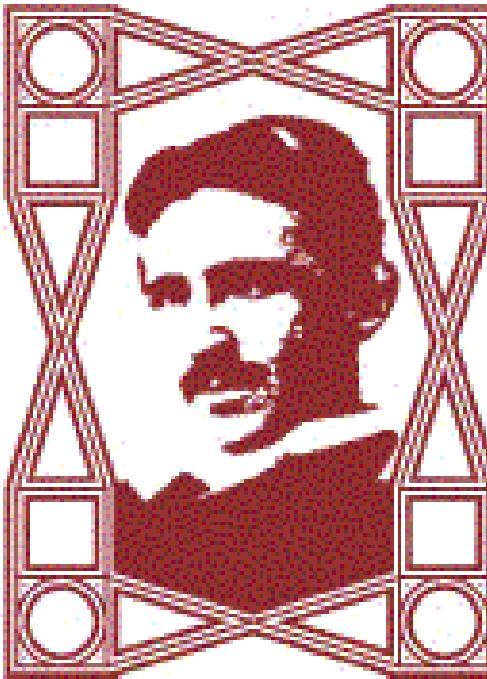


- ・アームロボットの動き(と電磁石の磁界の順方向/逆方向/停止の切り替え?)を使って、テスラダイス(部品)の把握、切り離し、垂直方向回転、水平方向回転、ができた。
- ・(受信装置の方)あともう少しであってほしい
- ・Virtual 空間の「物」から、それと同じものを組み立てるための受信装置の制御情報に変換できたら、「テレポーテーション」が、一応、実現できるはず。

謝辞



- What How For Kitakyushu



Project
TESLA